

7月平日山行報告

【山行日】平成26年7月16日

【目的地】草津芳が平

【参加者】CL 辻本 SL 内堀 高橋 石橋 高地 エデラ・ロビンソン

【コース】草津スキー場（06：00）～大平湿原～芳が平湿原（09：00）

千葉は夜9時半に出発し、前泊地の草津道の駅に向かう。テント不許可の駐車場に深夜のテント設営。「ちば山の会」とデカ書きのテントを辱めぬよう3時間ほどの眠りで、草津スキー場に移動する。

何となく気だるい歩みも、登山口に着けば「さあ、登るぞ！」と力が漲ってくるから不思議だ。

登山道は手入れが行き届き、傾斜は緩く、落葉樹林が気持ちいい。30分ほどで常布の滝展望台に着く。

滝は崩壊した断崖から落ちているようだが、展望台から遠過ぎてスケール感が伝わってこない。

登山道が沢を渡ると、「毒水」の道標があった。さすが白根山を源頭に行き届き、傾斜は緩く、落葉樹林が気持ちいい。30分ほどで常布の滝展望台に着く。

軽口を交わしながら70mほど登ると、大平湿原への分岐が現れる。寄り道をして大平湿原に向かった。

途中、渡渉がありベテランのIさんが滑ってドボン。

シッポリ濡れたいい女になってしまった。沢のベテランだから、濡れても平気と笑ってもらえるが、初心者なら大変。ドキリとした一瞬だった。

地形図には大平湿原から、芳が平への道があるのだが、探しても見つからず登山道まで戻る。後で芳が平ヒュッテのオーナーに聞くと、道は背丈より高い藪に埋もれているとのことだった。



朝の駐車場



登山口にて



登山口にて



登山道にて



常布ノ滝



大平湿原



キンリョウソウ



キノコ (イグチ)



イワカガミ



ツマトリソウ



イワハゼ



モウセンゴケ

やがて道にはギンリョウソウ、ツマトリソウ、イワカガミ、モウセンゴケ、イワハゼなどの高山植物で賑やかになり、涸れた沢を過ぎると芳が平ヒュッテの赤い屋根が見える。ここまで寄り道をしながら、ゆっくり登山で3時間であった。

ヒュッテではデカ犬の歓迎を受け、人懐っこく抱きついてくる。白根山の火山規制のためか、レストハウスから人が来ず、観光客が激減とのこと。

ヒュッテでの休息を終え、湿原散歩を楽しむ。湿原は心地良い風がそよぎ、ワタスゲが揺れ、池塘は白根山を映し、時おりさざ波に揺れる。

夏の山 白根は池に 揺れており
火山規制のためか、平日のためか、湿原は我々で独占。木道歩きの対向者もない。
至福の時を過ごすことができた。

いつときの夢から覚め、元来た道を引き返す。ウッチーは単独行者となり、早駆けの下山。残りはマイペースで。それでも11時40分には駐車場に着き、草津温泉に向かう。湯畑前にある日帰り入浴温泉「御座之湯」¥500で汗を流し、湯畑観光を済ませ帰路に着いた。

※今回、お試し山行で参加していただいた、エデラ・ロビンソンですが、富樫正三さんのご紹介で、ご本人は日本人です。エデラさんがファーストネーム。近々、入会していただけるとのことなので、またご一緒に山行できることを、楽しみにしています。



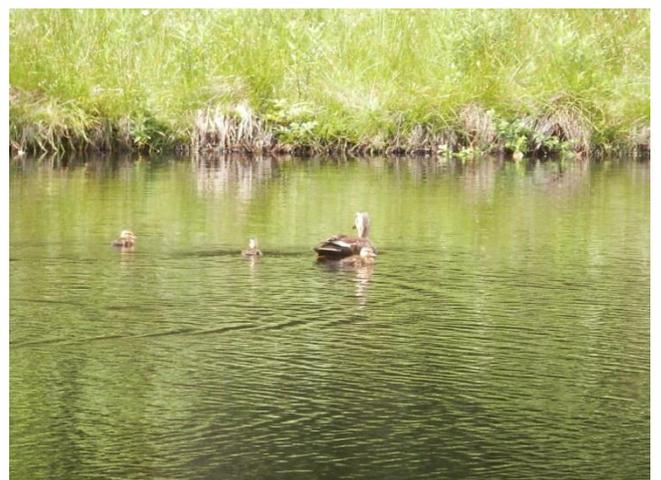
分岐の道標



芳が平ヒュッテと白根山



ヒュッテの前で



カルガモの親子

